



写真:ハリギリの新緑(平成25年5月12日えびの高原)

「霧島山の新緑」

えびの高原へと向かう道路沿いでは、木々の輝くような新緑に目を奪われます。

えびの高原はミヤマキリシマの季節を迎え、多くの観光客や登山者でにぎわっています。例年5月下旬から6月中旬頃まで花を楽しむことができます。カツコウやハルゼミの鳴き声が高原に初夏の雰囲気を感じさせます。

花々の美しさもさることながら、えびの高原へ向かう道路沿いの木々の輝くような新緑にも目を奪われます。標高1200mのえびの高原は、麓と比べると常に7℃くらい気温が低く、年間平均気温は約10℃。東北地方の平地と同じくらいの気候です。そのためえびの高原では寒い地方で見られるブナやミズナラ、カエデなどの落葉広葉樹林をみることが出来ます。これらの木々は、冬に葉を落とすことで冬の寒さや積雪に耐えていると考えられており、秋の紅葉もひととき美しい林です。

まだ生まれたばかりの黄緑色の木々の葉がやわらかに日光を通す木漏れ日の中を歩くと、森に溶けこんでいくような気持ちになります。梅雨を経て、盛夏を迎えるころには、木々の緑も深まっています。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

新緑 春から初夏にかけて、木が芽吹き、若葉がみせる鮮やかな緑色